

国富町住宅耐震化緊急促進アクションプログラム

1. 取組目的

- ・住宅の耐震化を推進するために、住宅所有者の方に耐震化に対する理解を更に深めてもらう。
- ・重点的に耐震化を推進する区域を緊急耐震重点区域と定め、個別訪問を含む、住宅所有者への積極的な普及啓発を行う。

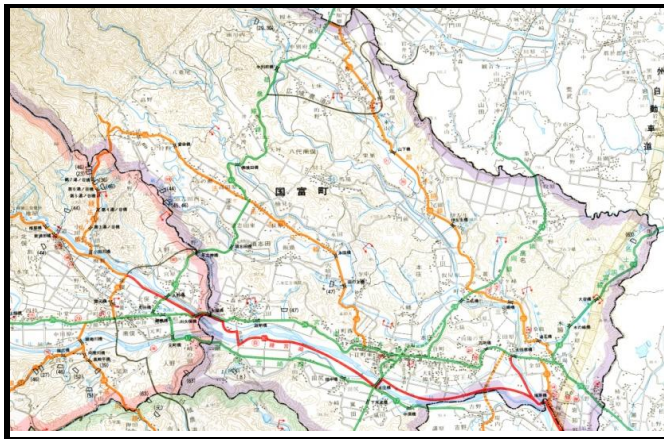
2. 緊急耐震重点区域の設定

緊急耐震重点区域は、国富町の住宅耐震化の状況から下記の区域とする。

緊急耐震重点区：国富町 全域

○対象住宅

- ・昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅



3. 取組期間

- ・本プログラムの取組期間は下記の通りとする。

取組期間：平成31年度～平成35年度(5年間)

	H30	H31	H32	H33	H34	H35
AP作成						
個別訪問						

4. 個別訪問の実施

個別訪問は下記の通り行う。

- ①パンフレット等を用い耐震化の必要性・補助制度を説明する
- ②不在の場合は、資料をポストに貼る
- ③訪問結果(訪問日、訪問者、説明内容等)を記録・整理する

5. その他の普及啓発活動

個別訪問と併せて、下記啓発活動も引き続き実施していく。

- ①住宅耐震啓発パンフの配布
- ②住民説明会
- ③広報誌による周知
- ④エリア別に区分けし、計画的に実施

6. 関係団体との連携

個別訪問及びその他の普及啓発活動において、県及び宮崎県建築士会と連携して活動に取り組む

7. 実績の公表

- ・当該年度毎に訪問戸数・診断実績・改修実績の件数を取りまとめ国富町のホームページにて公表します。
- ・町回覧板に補助制度を掲載します。

国富町木造住宅耐震化緊急促進アクションプログラム

1. 目標

国富町木造住宅耐震化緊急促進アクションプログラムを作成し、木造住宅所有者に対し計画的に個別訪問等を行うことにより、耐震化に関する意識の啓発や情報提供を行い、計画した取組みに対し、その進捗状況を確認、評価し見直しを行い改善することで耐震化を推進することを目標とします。

2. 住宅耐震化の現状（平成25年度 住宅・土地統計調査より）

区分	住宅数	昭和56年5月以前の住宅	耐震性有住宅数	現状の耐震化率(%)	耐震化率の目標(%)
木造戸建 (耐震性有)	7,070	2,550 (430)	4,520 (4,950)	70.01	90

住宅総数 : 7,070 戸
耐震性有の住宅戸数 : 4,950 戸
耐震性無の住宅戸数 : 2,120 戸

3. 位置付け

アクションプログラムは国富町木造耐震改修促進事業の一つとして位置付けます。

4. 緊急耐震重点区域及び対象住宅

重点区域：国富町内全域とします。

対象住宅：昭和56年5月以前に着工された木造住宅とします。

5. 取組内容

1) 戸別訪問の実施

戸別訪問は下記要領で実施します。

- ① パンフレット等を用いて耐震化の必要性・補助制度の説明
- ② 町広報誌や回覧板で、訪問による個別相談の希望者を募集し、木造住宅耐震診断士と共に訪問し、簡易診断と補助制度の説明を行う。
- ③ 耐震診断実施済みの所有者に、電話等により改修の意向を確認し、最適な補助制度の情報提供を行います。

2) 事業者育成・事業者情報の提供

- ① 事業者育成講習会の案内
- ② 登録事業者の一覧の掲載

6. 平成 31 年度の目標

木造住宅耐震診断補助戸数 5 戸

木造住宅耐震改修補助戸数 3 戸

7. 過年度の実績

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
診断	2	2	3	3	1	-	3	1	5
改修	-	-	-	-	-	-	-	-	3

	H26	H27	H28	H29	H30		合計
診断	4	5	13	4	3		49
改修	0	1	3	2	0		9

8. 実績の公表

毎年度、国富町のホームページにて、戸別訪問戸数、耐震診断戸数、耐震改修戸数の実績を公表します。